

令和6年度 道中理ユースネット

第16回夏季特別研修会

実施報告

8月6日(火)に今回で16回目となる「夏季特別研修会」が札幌市青少年科学館で実施されました。夏季休業期間ではありましたが、たくさんの先生方が参加し、これからはじまる授業づくり研修の第1回目を行いました。同じ理科の先生方と教科について真剣に話し合うことはもちろん、各校の話題なども交流し、充実した研修会となりました。簡単にではありますが、研修会の内容を理科の先生方に報告致します。

参加して下さった先生方(敬称略)

- | | | | |
|--------------------|---------------|--------------------|-------------|
| ・坂本 拓麻(白石) | ・寺田 和史(前田北) | ・芦田 創平(北白石) | ・伊藤 雅哉(厚別北) |
| ・藤岡 健人(藤野) | ・後藤 崇仁(厚別南) | ・越智 月美(向陵) | ・清水 将(北陽) |
| ・徳光 賢人(新琴似) | ・小山内 将乃(北白石) | ・有賀 大祐(八軒東) | ・今井 大貴(藻岩) |
| ・ト部 奎(北白石) | ・小林 可奈(石山) | ・加藤 知里(明園) | ・高松 靖香(北陽) |
| ・宮田 晃生(柏) | ・望月 陽(旭川市立六合) | ・宍戸 広太(旭川市立広陵) | |
| ・松枝 充樹(函館市立湯川) | | ・杉森 琉奈(釧路市立大楽毛) | |
| ・大谷 光輝(北海道教育大学札幌校) | | ・小島 柊人(北海道教育大学札幌校) | |
| ・三浦 雅美(平岡中央) | ・野田 隆之(北都) | ・伊藤 雄一(美香保) | |

💡参加した先生方の感想～一部紹介～

- ・いろいろな先生方のアイデアが授業づくりのヒントになりました。
- ・様々な先生方の価値観を知ることができて、世界観が少し変わった。
- ・全道規模で繋がりができたことは、今後の自分にとって非常に有意義であった。

道中理「ユースネット」の活動について

道中理「ユースネット」は主に30代までの先生方(これを読まれている先生方)を中心に、お互いに理科教員として研鑽を積んでいく目的で設立された、道中理のなかの組織の一つです。これまで同様に、多くの先生方が参加・協力してつくっていく会でありたいと思っています。ご意見・ご感想等がありましたら、ご連絡ください。

連絡先 道中理研究部副部長 札幌市立白石中学校 坂本拓麻 (TEL)011-861-1106 (FAX)011-861-2368

ユースネット代表 札幌市立前田北中学校 寺田和史 (TEL)011-694-2320 (FAX)011-694-0723

🌞 午前の部：札幌市青少年科学館 施設見学

午前の部では、リニューアルされた青少年科学館について職員の高松先生からご説明していただいた後、授業に生かせる実験教材について紹介していただきました。低温室にも案内していただき、マイナス 30℃の世界を体験することができました。後半は自由見学の時間もあり、新しくなった館内の展示物を自由に見学させていただきました。



🌙 午後の部：授業検討会

午後の部前半は、授業づくりの基礎・基本について、白石中学校の坂本先生からご講義いただきました。与えられた教材と自由度が高い教材の両方の特徴を理解し、適切な教材を選択することの重要性や、短期的な視点と長期的な視点の両方の側面から単元を構成し、生徒が主体的に学ぶための「仕掛け」を随所に仕込むことの大切さを教えていただきました。



後半は1年生チームと3年生チームの2つのチームに分かれて授業づくりを行いました。日々の授業づくりの悩みを交流し、公開授業の授業者と扱う単元を決定しました。チームごとの話し合いを終え、授業者2名の先生方がそれぞれ授業づくりで感じている課題や目指したい生徒の姿について全体で交流しました。

1年生チームは、生徒が途中で思考を放棄してしまうことがあるという困り感から、粘り強く取り組めるようにするための手立てをチームで考えていくことになりました。3年生チームは、生徒が課題を自分ごととして捉えられるような授業をつくりたいという思いから、地域の環境を題材にした授業づくりをしていくことになりました。



チーム	扱う単元	リーダー	授業者
1年	地球分野「大地の成り立ちと変化」	越智月美 先生	伊藤雅哉 先生
3年	環境分野「自然と人間」	今井大貴 先生	有賀大祐 先生

研修会の最後には、野田隆之先生から研修会全体についてご講評をいただきました。その中で、今後の授業づくりについて、「なぜそれを学ぶのか?」といった学びの意義や必然性を子供が掴めているのか、生徒に試行錯誤を促すことでどんな力を身につけて欲しいのか、といったことをチーム全体で一度考えてみるようご助言をいただきました。

